

作成日 2020 年 1 月 23 日 (第 2 版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ジャンダルム® MX 1 キロ粒剤 (ピリフタリド・ピリミスルファン・メソトリオン粒剤)
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海 1 丁目 8 番 10 号オフィスタワーX 21 階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
Eメールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B
	皮膚感作性	区分 1B
	呼吸器感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分 1A
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性(単回曝露)	区分 1 (呼吸器系) 区分 2 (神経系)
	特定標的臓器/全身毒性(反復曝露)	区分 1 (呼吸器系、腎臓) 区分 2 (神経系)
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性:	水生環境急性有害性(急性)	区分 3
	水生環境急性有害性(慢性)	区分 3
	* 記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」	

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

眼に刺激あり

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

発がんのおそれ

臓器(呼吸器系)の障害のおそれ

臓器(神経系)の障害のおそれ

長期にわたる、または反復暴露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害

長期にわたる、または反復暴露による臓器(神経系)の障害のおそれ

水生生物に有害

長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き:

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

環境への放出を避けること。

使用前に取扱説明書入手し、安全注意を理解するまで取り扱わないこと。

取扱時には飲食や喫煙をしないこと。

取り扱い後はよく洗うこと。

保護具を着用すること。

国/地域情報

—

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名【一般名】

(RS)-7-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルチオ)-3-メチル-2-ベンゾフラン-1(3H)-オン【一般名:ピリフタリド】

(RS)-2'-[(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)(ヒドロキシ)メチル]-1,1-ジフルオロ-6'--(メキシメチル)ジフルオロ-6'--(メキシメチル)メタンスルホンアニリド【一般名:ピリミスルファン】

2-(4-メシル-2-ニトロベンゾイル)シクロヘキササン-1,3-ジオン【一般名:メソトリオン】

成分	含有量(%)	化学式	官報公示整理番号	CAS番号
ピリフタリド	1.8	C ₁₅ H ₁₄ N ₂ O ₄ S	8-(2)-1940	135186-78-6
ピリミスルファン	0.50	C ₁₆ H ₁₉ F ₂ N ₃ O ₆ S	8-(2)-1942	221205-90-9
メソトリオン	0.90	C ₁₄ H ₁₃ NO ₇ S	7-(4)-1262	104206-82-8
結晶質シリカ(石英)	63.3%	SiO ₂	1-548	14808-60-7
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	0.3%	—	3-1884	69669-44-9
界面活性剤、鉍物質微粉等	33.2	—	—	—

4. 応急措置

眼に入った場合:	直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。
皮膚に付着した場合:	汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流す。
吸入した場合:	被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。 汚染された衣類や保護具を取り除く。 多量に吸入した場合は、直ぐにはなにも症状が認められなくても、必ず医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合:	被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。 口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤:	水、強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器及び乾燥砂
消火活動上の注意:	燃焼又は高温により有毒なガスが生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。液体の場合、燃焼源の供給を速やかに止める。

6. 漏出時の措置

作業員に対する注意:	屋内の作業の際には十分に換気を行う。作業の際には保護具(8. 暴露防止措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。
環境影響に対する注意:	流出した製品が河川に影響を及ぼさないよう注意する。
流出物の処理に対する注意:	飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。真空掃除機で吸い取る等粉塵が飛散しない方法で取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意:	秤量等の取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに粉塵を発生させない。 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。
保管上の注意:	直射日光が当たらない冷暗所に保管する。 異種物質の混入を避ける。 火気、熱源から隔離する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	取り扱いについては、局所排気装置を併用する。 有害物が環境中に放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための施設を設けることが望ましい。	
許容濃度	ACGIH (2010 年度版) シリカ TLV-TWA 0.025mg/m ³	
保護具	呼吸器用の保護具	防塵マスク
	手の保護具	不浸透性手袋
	眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡
	皮膚及び身体の保護具	耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等

9. 物理的及び化学的性質

形状	細粒
色	淡褐色
pH	7.3 (5 倍希釈液)
見掛け比重	1.02
オクタノール／水分配係数	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定。
-----	-------------

11. 有害性情報

急性経口毒性 LD ₅₀	ラット	>2,000 mg/kg
急性経皮毒性 LD ₅₀	ラット	>2,000 mg/kg
皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
眼刺激性	ウサギ	刺激性あり
皮膚感作性	モルモット	陽性率 15%
発がん性	結晶質シリカが区分 1A に分類されることから区分 1A とした。	
特定標的臓器／全身毒性 (単回曝露)	結晶質シリカが区分1(呼吸器系)に分類される。 ピリミスルファンが区分2(神経系)に分類される。	
特定標的臓器／全身毒性 (反復曝露)	結晶質シリカが区分1(呼吸器系、腎臓)に分類される。 ピリフタリドが区分2(神経系)に分類される。	

12. 環境影響情報

生態毒性：以下の情報から水生環境有害性(急性、慢性)は区分3とした。

水産動植物への影響	コイ LC ₅₀ (96hr)	>1,000 mg/L
	オオミジンコ EC ₅₀ (48hr)	>1,000 mg/L
	緑藻 ErC ₅₀ (72hr)	25 mg/L

13. 廃棄上の注意

注意事項	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。 洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。
------	---

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連分類	クラス 9
国連番号	3077 (環境有害物質、固体)
輸送時の安全対策	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 車輻、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 24196 号
消防法	非該当
PRTR法	非該当
労働安全衛生法	第18条の2(通知対象物質):結晶質シリカ(石英)(政令番号312)
毒物劇物取締法	非該当

16. そのほかの情報

記載内容の取扱い	製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。
----------	---

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。

当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。

中毒の緊急問合せ先 財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1 件につき 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9-21 時)	029-852-9999	029-851-9999

「ジャンダルム」はシンジェンタ社の登録商標です。